

事例紹介資料 2

京都産業大学

「自主性・社会性を養う

～一年生中心の『教育寮』の実際～」

渕上 知己：学生部課長（寮務担当）

井上 嘉規：学生部事務部長

自主性・社会性を養う一年生中心の 「教育寮」の実際

平成24年8月31日

京都産業大学 学生部

1

京都産業大学について

開学 1965年(昭和40年)

構成

(学部)経済・経営・法・外国語・文化・理・コンピュータ理工・総合生命科学部

(大学院)経済学・マネジメント・法学・外国語学・理学・工学・先端情報学・法務・
経済学(通信教育課程)

学生数(2012年5月1日現在)

学部 12,970名 大学院 237名

教職員

専任教員 387名 専任職員 196名 嘱託・契約職員(常勤)216名

特色

全学部・大学院すべてが集結した**一拠点総合大学**。学部・学科の垣根を越えた
交流が学びの可能性を広げる。

2

学生寮の理念

「建学の精神に基づく人づくり」

建学の精神

- ・将来の社会を担って立つ人材の育成
- ・全世界の人々から尊敬され、全人類の平和と幸福のために寄与する精神をもった人間の育成

教学の理念

- ・自らを厳しく律しつつ、創造性に富み、社会的な義務を怠らずに、国際社会で活躍できる人材の育成

学寮の理念

- ・「建学の精神」「教学の理念」に謳う高邁な人づくり教育を学生に体得させる場
- ・世界を舞台に活躍する創造性豊かな人間育成のために、厳しく自らを律する緊張感のある生活の場の構築
- ・深遠な真善美を求め、知徳体を修めるための生活基盤

3

学士力(2008年12月 中教審答申)

(知識・理解)

専攻する特定の学問分野における基本的な知識を体系的に理解
多文化の異文化に関する知識の理解、人類の文化・社会と自然に関する知識の理解

(汎用的技能)

知的活動でも職業生活や社会生活でも必要な技能
コミュニケーション・スキル、数量的スキル、情報リテラシー、論理的思考力、**問題解決力**

(態度・志向性)

自己管理能力、**チームワーク・リーダーシップ**、**倫理観**、市民としての社会的責任、生涯学習力

(統合的な学習経験と創造的思考力)

自らが立てた新たな課題を解決する能力

4

本学のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)

(知識)

人間・文化・社会・自然について幅広く豊かな知識を有している。
人文科学、社会科学、自然科学のいずれかの専門分野について体系的知識を有している。
学際的分野における知識を有している。
社会人として職業に携わるための基礎的知識を有している。

(汎用的技能)

学問的方法の基礎を修得している。
論理的に思考し判断することができる。
問題に対する解決策の提案をおこなうことができる。
新たなものを創造することができる。
考えを適切に表現することができる。
国際的なコミュニケーション能力を修得している。

(態度・志向性)

日本文化への深い理解を有する。
国際社会における人類の平和と幸福に寄与する気概を有する。
自分の頭で考え、行動することができる。
倫理的態度を身につけている。
社会的義務を果たす意欲を有している。
生命を尊び、慈しむ気持ちを有している。

5

本学の学生寮

一般寮

(入寮者)

男子寮

・追分寮

2012年度 1年生 183名 2年生 12名在寮

女子寮

・葵寮

2012年度 1年生 143名 2年生 12名在寮

体育寮

・神山寮

・津ノ国寮

・賀茂川寮

・五常寮

2012年度 274名(1～4年)在寮

6

追分寮・葵寮の概要

・1年生対象の寮

・教育寮

追分寮

設立 1966年(開学の翌年) 滋賀県に開設

1982年 男子寮(追分寮) 新寮開設(大学近隣へ移設)

2人部屋。(14.85㎡)。大学へ徒歩5分。

舎費 月額16,000円(光熱費込) 食費(朝・夕、日曜等除く)1日1,050円

葵寮

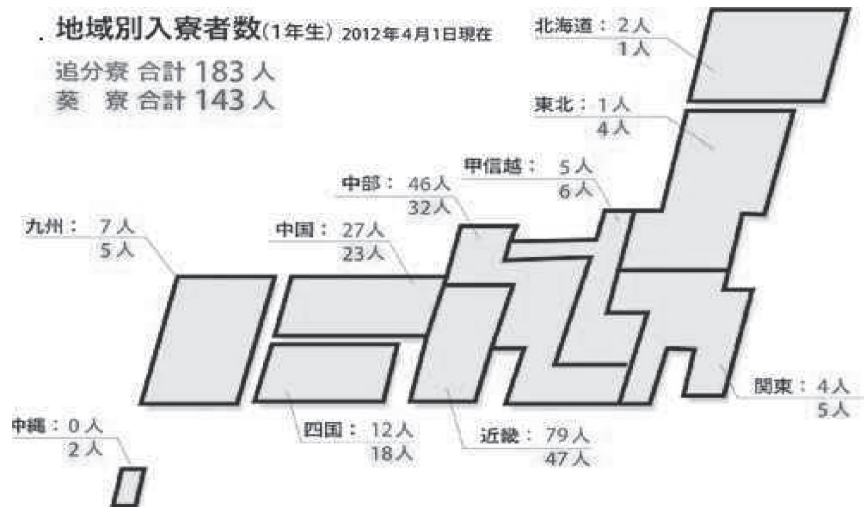
設立 2002年 女子寮(葵寮)開設

1人部屋。(10~12㎡)大学からバスで15分。地下鉄駅付近のため、便利。

舎費 月額15,000円(光熱費込) 食費(朝・夕、日曜等除く)1日980円

7

追分寮・葵寮の概要



全国各地から入寮

8

追分寮・葵寮の概要

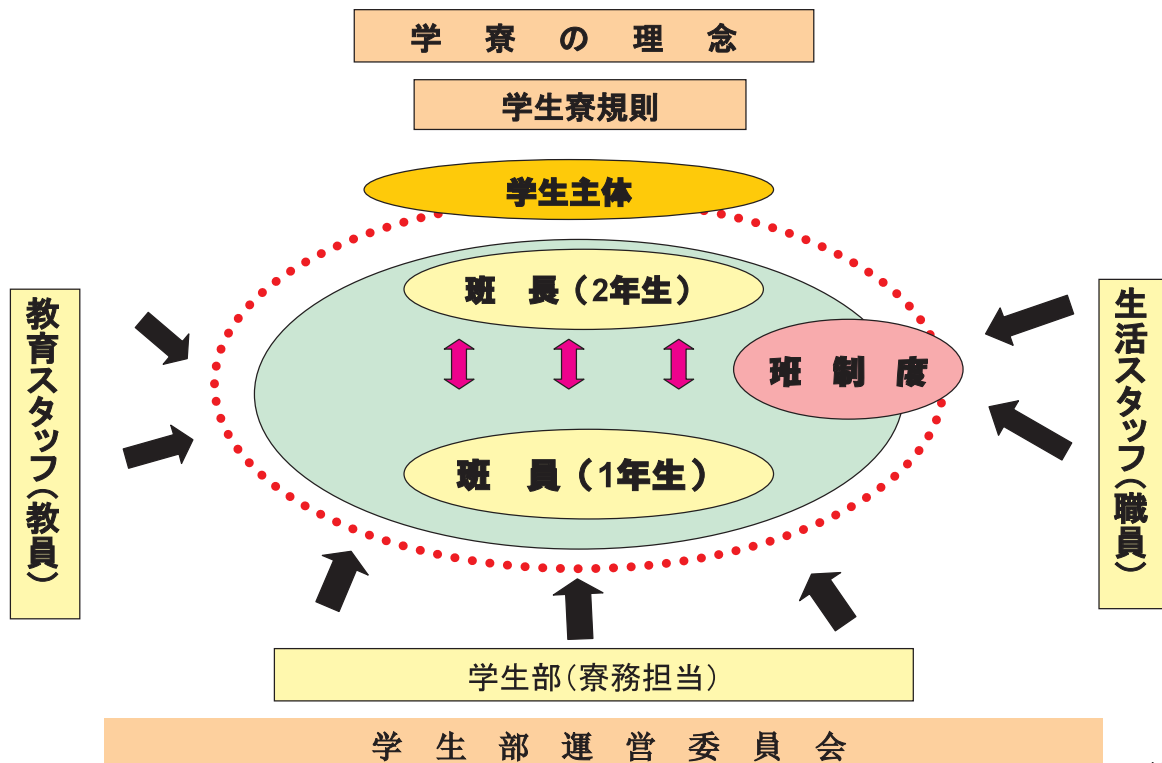
入寮選考

入寮希望者からの入寮願・作文により選考。
入寮許可者に入寮ガイドス資料を送付
募集定員を推薦(12月40%)・一般(2月50%)・後期入試(3月10%)
で按分し、3回に分けて募集する。

※追分寮は、1988年度～2003年度まで大学にて面接を実施

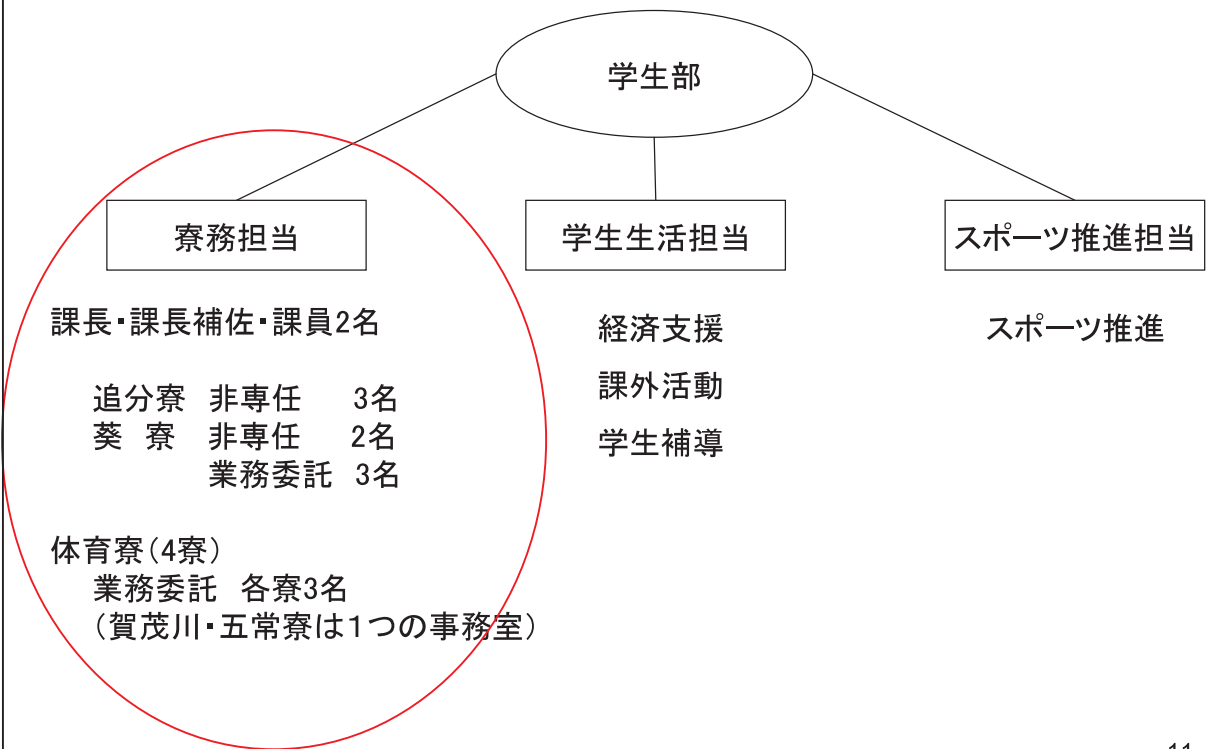
9

教育寮の運営体制は



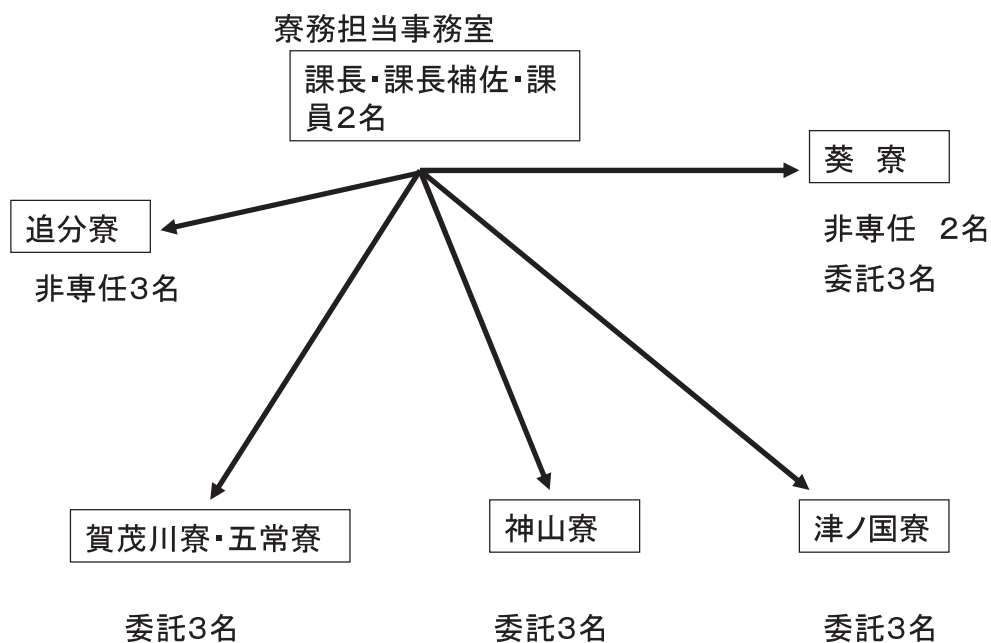
10

学生寮スタッフ



11

学部寮務担当スタッフ体制



12

追分寮・葵寮の運営(特徴)

学生寮スタッフ制度

(1)教育スタッフ(教員)

- ・教学上(修学相談・懇話会等)の助言及び指導
- ・教員のうちから学生部長が推薦し、学長が指名
- ・各学部から1名の8名



講演・寮生研修会・大学での修学相談 など

(2)生活スタッフ(職員)

- ・生活上(生活面の悩み・大学生生活の目標設定・規則の遵守等)の助言及び指導
- ・事務職員のうちから寮務担当課長が推薦し、理事長が指名
 - ・本年度6名
 - ・任期1年(再任は妨げない)



寮生研修会・大学での生活相談 など

13

学寮の理念を踏まえて、3つの目標

学部の枠を超え、友情の輪の中で生涯の友を作り、
仲間との共同生活の中で自律心を養う寮

3つの教育目標

- (1) 生活基盤を身に着ける。
(規則正しい生活習慣)
- (2) 自立・自律心を養う。
- (3) 本学の中核的な存在の素地を培う。

14

追分寮・葵寮の運営(特徴)

1. 班制度での運営

12班体制で運営

追分寮(男子) 班員(1年生)各班14~16名+班長1名

葵寮(女子) 班員(1年生)各班11~12名+班長1名

2. 週番担当



15

週番業務について

「自分たちのことは自分たちです」という目的から



各班2名の当番が1週間の業務を担当(輪番制)。

1年間を通して全員が当番業務を行う。

週番会議 毎週水曜日 7:30から実施。

週番業務

- (1) 朝の点呼
- (2) 班日誌の記入および提出
- (3) 日誌の指示
- (4) 連絡事項の伝達および徹底
- (5) 夜の点呼
- (6) ラジオ体操の実施
- (7) 浴室、洗濯室の清掃
- (8) 自転車置き場、バイク置き場の整理整頓
- (9) その他、寮生活に関すること

16

週番(平成 24年 4月18日 ~ 4月25日)

週番作業は責任を持って必ず2名で行うこと。

1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班	8班	9班	10班	11班	12班
103	133	203	233	253	273	303	333	353	373	453	473
号室	号室	号室	号室	号室	号室	号室	号室	号室	号室	号室	号室

時間	週番業務内容	18日(水)	19日(木)	20日(金)	21日(土)	22日(日)	23日(月)	24日(火)	25日(水)	
7:10	○起床 班長が全館放送にてラジオ体操への参加を呼びかける。 ※土、日、祝日(放送はしない)									
7:20	○ラジオ体操をリードする。(班長が前列にて行う) ※土、日、祝日は実施しない									
7:25	○点呼 (ラジオ体操後、週番が前庭で実施)雨天の場合は廊下で実施 ※土、日、祝日は実施しない(寮務職員が人員をチェック)									
ラジオ体操終了後	○国旗・寮旗を掲揚する ※曇天時は寮務職員の判断による		5 6				7 8 9			
	○脱衣場及び浴室の清掃 ※実施要領は、脱衣場に表示		10 11				12 1 2			
	○洗濯室の清掃		3 4				5 6 7			
22:30 前後	○自転車置場およびバイク置場の整理・整備 (班長含む全員で実施)	8	9 10				11 12			
22:30	○点呼 (各班の廊下で週番が実施)	各班の廊下で実施する。								

(朝)起床を知らせる音楽と同時に班日誌を事務室で受け取り、ラジオ体操終了後、前庭で点呼を実施し速やかに事務室へ報告・班日誌を提出すること。

(夜)門限を知らせる音楽と同時に班日誌を事務室で受け取り、各班の廊下で点呼を実施し、伝達事項の周知後、速やかに事務室へ報告・班日誌を提出すること。

22.4.26変更
22.7.06修正

週番会議資料

平成24年4月18日(水)

1. 週番業務について

週番担当者は責任を持って週番業務を遂行すること。
週番業務を行うにあたり、わからないことがあれば班長もしくは寮事務室で確認すること。

2. 回転板(氏名札)の操作について

外出、または帰寮したときの氏名回転板を操作しない寮生を見かける。外出、帰寮したときは忘れずに必ず氏名回転板の操作をすること。

3. 貴重品の管理について

貴重品、現金は、個人の責任においてしっかり管理すること。多額の現金は持ち歩かないようにし、高価な物は鍵のかかる机の引き出し又は1Fロビーの貴重品保管庫などで保管すること。

4. 廊下の荷物について

廊下に荷物を置くことは、消防法上禁止されています。廊下に荷物を出せばなしにせずに、片づけること。廊下に出ている荷物は、無断で片づけます。

5. 自転車の許可シールの貼付および駐輪場について

自転車を持っている寮生は班長から許可シールを受け取り、指定のところに貼ること。近々にシールが貼ってあるかどうかを調査します。
また、自転車を置くときは所定の駐輪場所へ整理して置くこと。国際交流センターへは絶対に置かないこと。

6. 特別セミナーについて

以下の日程で特別セミナーを実施します。学生寮の教育スタッフ・生活スタッフの方々に、自らの体験談を交えた寮生へのメッセージを送っていただきます。授業、公認団体のクラブ活動以外は、必ず参加すること。

4月24日(火) 16:45~ 大教室棟517教室

4月26日(木) 16:45~ 大教室棟517教室

7. 硬式野球「京都産業大学 対 龍谷大学<5月12日(土)>」等の応援ツアーについて

学生寮教育プログラムの一環として、5月12日(土)に行われる「京都産業大学 対 龍谷大学」への応援ツアー(体育会本部企画)に参加します。

班長は、取りまとめをして4月22日(日)夜の点呼までに寮務職員に報告してください。

8. 週番業務及び次回の週番会議について

※今週の週番業務は別紙の通りです。

※この会議で配付した資料は、班日誌に綴って下さい。

※この会議で連絡した事項は、夜の点呼時に必ず班員に伝達してください。

※点呼時に不在だった者には、後日必ず伝えてください。

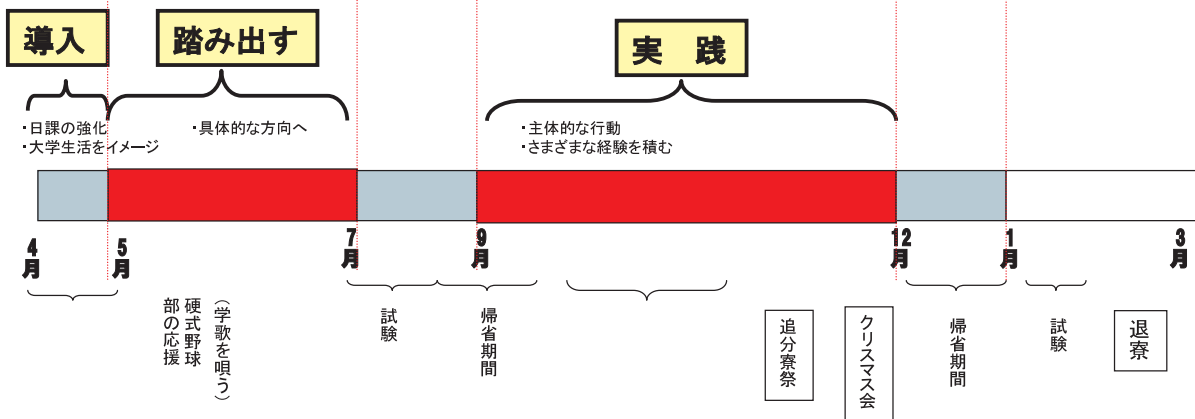
※次週の週番会議は4月25日(水)ラジオ体操終了後、1階ロビーで実施します。次週の担当者は遅れずに集合するように伝達して下さい。

追分寮・葵寮の運営(特徴)

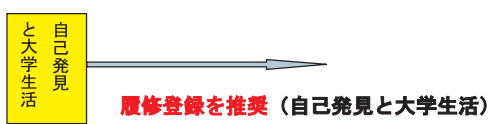
3. 班長会議(月1回)寮別に開催

寮務担当職員と班長との情報共有の場
 各班での問題点や課題・行事の打ち合わせ
 各担当(日課・交通・衛生・食事・洗濯・会計)からの報告・問題点

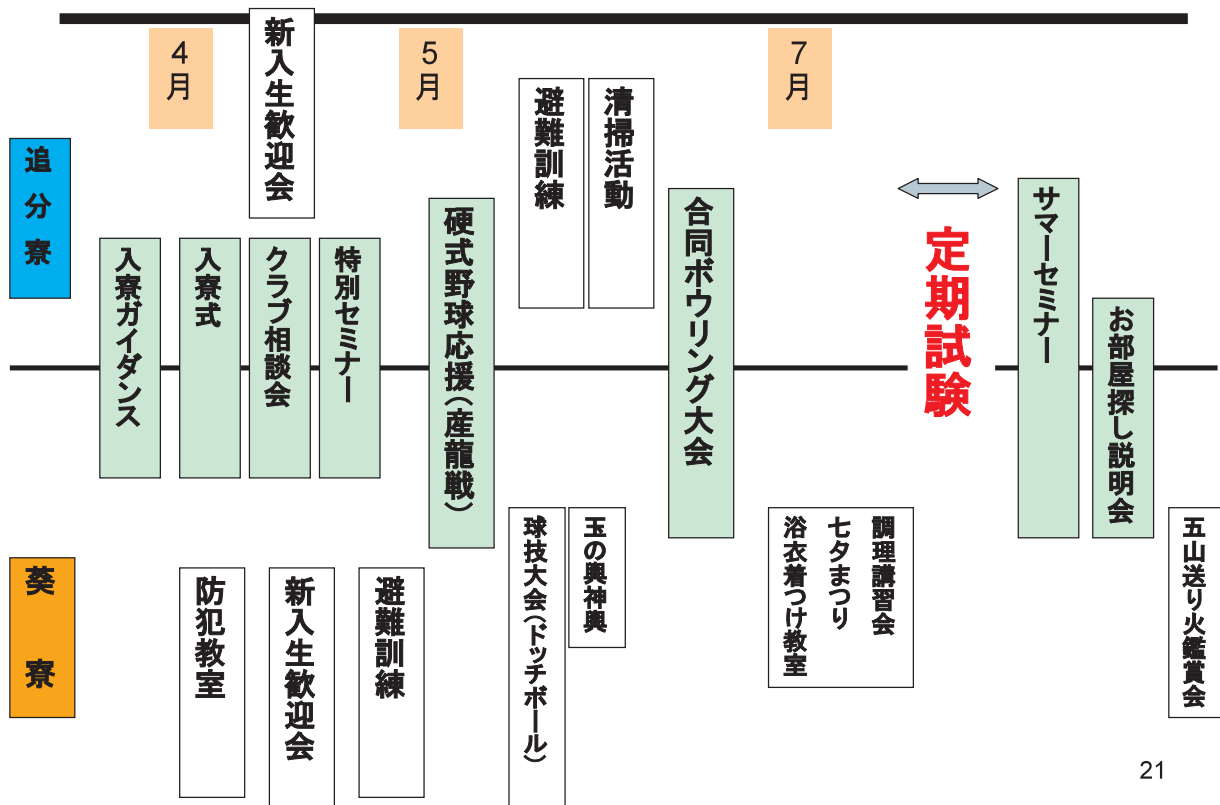
追分・葵寮の教育



※班長会議(月1回・4～5月は月2回)・週番会議 週1回



追分寮・葵寮の行事(春学期)



21

入寮式(学長から式辞)



防犯教室



新入生歓迎会(追分寮・葵寮)



清掃活動

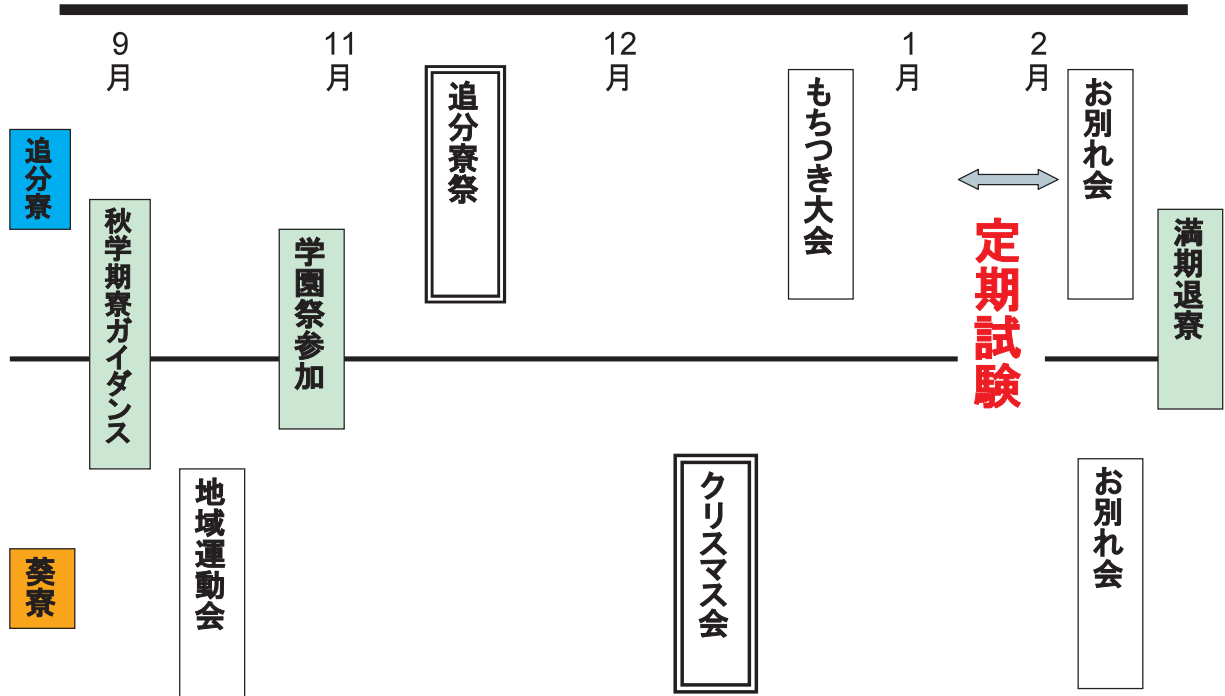


サマーセミナー



22

追分寮・葵寮の行事(秋学期)



23

追分寮祭



クリスマス会



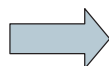
もちつき大会



24

寮の教育プログラム①

1. 自己発見と大学生活 (1年生春学期)



履修を推奨・自動登録(寮生)

本学の共通教育科目(キャリア教育形成支援教育科目)

・大学入学という人生の一つの節目をキャリアデザインへの大きなステップと捉え、大学生活、その後の社会や仕事、働くことについて、受講生同士で一緒に考える。



- (1) 出席率は非常に高い。
- (2) この科目に対する学生からの評判は高い。



25

寮の教育プログラム②

2. 硬式野球 **関西六大学野球** 本学の**硬式野球部**戦を寮生全員で応援する。(平成24年度)



- (1) 仲間と共に応援する楽しさ。→ 本学への愛着
- (2) 何かに打ち込む魅力を感じる。

→ クラブ・課外活動への加入のススメ。



追分寮・葵寮の日課

追分寮(男子)

7:10	起床
7:20	ラジオ体操及び点呼
7:30~9:00	朝食
18:00~21:30	夕食
18:00~22:30	入浴
22:30	門限
22:40	点呼
23:00	消灯

葵寮(女子)

7:00	起床
7:05	点呼
7:10~7:20	清掃
7:30~9:00	朝食
18:00~21:30	夕食
18:00~23:00	入浴
22:00	門限
22:10	点呼
23:00	消灯

27

寮生活について

学寮の理念に共鳴した上での応募

新入寮生研修

班制度・班長制度

寮生活のルールを理解・遵守

・アルバイト禁止・バイク原則禁止・日課の遵守

生活指導



班長と寮スタッフが連携しながら行う。

特に

追分寮



ラジオ体操

葵寮



門限・外泊

28



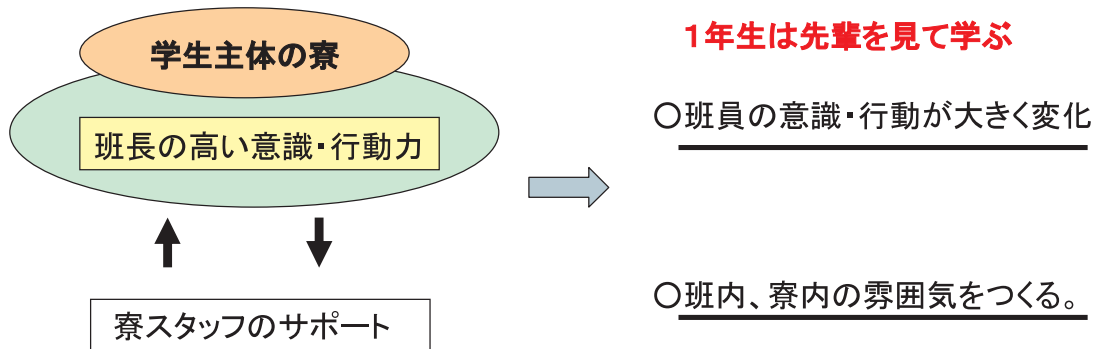
【追分寮】

ラジオ体操



29

追分寮・葵寮運営にあたって



寮運営にあたって

班長の役割は重要

班長の意識・自覚の大きさに、寮の雰囲気が大きく変わる。

30

【追分寮】 昨年の出来事

- 10班の週番(各班の点呼担当者)が、早朝のラジオ体操終了後の点呼で、自分の班員の中にラジオ体操に欠席者した者がいるにも関わらず、点呼表に出席と偽って処理し、事務室に提出した。



この事案に対して、班長にどのように対応するか、問いかけたところ

班長が、自ら班員全員を集め、

「なぜラジオ体操にでる必要があるか」を班員に語り、班内で話し合いを行う。

班全体の問題としてとらえ、2週間班員全員で清掃活動を行うことに。

互いに起しあいながら、ラジオ体操前に清掃活動を行う。

その後、10班については、欠席者がほとんどなく、ラジオ体操への出席。班としてのまとまりもよくなった。

31

【葵寮】 今年の6月初旬の出来事

- 葵寮生の「無断外泊」、「門限遅れ」が連続で発生する。



班長が自ら班長会議を開催。

班長間で、「自分たちの寮は、自分たちで解決したい」、という意識から、班長全員が1年生を集めて話し合いたいとの提案あり。

その後、1年生を全員集め、話し合いの場を持つ。



全体集会後、無断外泊、門限遅れが殆どなくなった。

32

班長選考・研修会①

学生主体の寮運営とするためにも、班長の力量アップ・班長の成長が不可欠

① 班長選考

② 班長研修会

次年度班長として役割を担う。

33

班長選考・研修会①

① 班長選考

スケジュール

- ・募集 10月中旬
- ・班長希望者説明会 10月下旬
- ・第一次選考 } 11月初旬から中旬
- ・第二次選考 }
- ・合格発表 11月下旬

応募状況

- 例年 追分(男子)寮 昨年度23名
- 葵(女子)寮 昨年度21名

選考にあたって

- ・求める素養
- ・多角的な意見を踏まえた選考

34

班長選考・研修会②

② 班長合格伝達式

11月下旬

- ・合格者に正式に班長の合格を言い渡す。
- ・各寮には、各新班長が書いた所信表明の文書を掲示。



班長の重みと自覚

③ 新旧班長合同報告会

2月中旬

- ・現班長から1年間の総括の報告を行う。



班長のイメージの確立、班長の「自覚」と「やりがい」の認識

35

班長選考・研修会③

③ 新班長合同宿泊研修会

3月中旬

- ・学生部長から『学寮の理念』・『班長に期待するもの』を伝える。
- ・男女別の各グループに分かれて、議論。
 - ・ どのような寮にしていきたいか。
 - ・ ケース・スタディ(事例をもとに議論)

ケース(事例) ①下足箱から靴がなくなると相談された。

②現金盗難事案

③ラジオ体操に班員が出てくれない

④班員や相方とうまくいかないとの相談があった

⑤退寮したいと相談された

36

研修会を終えて(班長の感想)

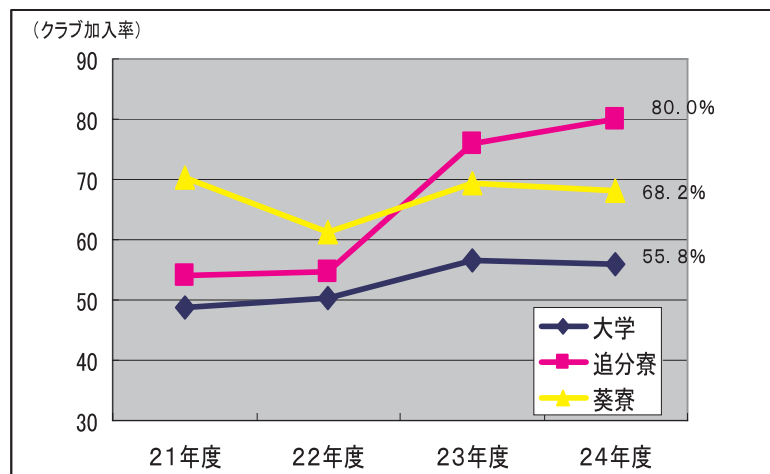


- 班長としての自覚・不安の解消
- 班長間の「共通理解」が必要
- 班員(1年生)とのコミュニケーションと気配りが重要
- 挨拶の重要性
- 日課の重要性
- 準備の重要性の認識
- 解決策を見いだせても、それを実行する難しさ

37

寮生について

クラブ加入状況(平成21年～平成24年)



38

寮生について

成績優秀者の排出状況

1年次終了時の成績について 寮生の成績優秀者の状況

	全学	寮生	寮生の割合
2011年度	128人	27人	21.1%
2010年度	131人	20人	15.3%

39

学生防犯推進チーム「サギタリウス」の活動への中心的な寮生の参加

活動 地域の交通・防犯の啓発活動

- ・青パトによる近隣小学校通学路巡回（週2～3回：1回2～3名）
（学生部職員が青パト運転）
- ・大学や寮での防犯教室の開催
- ・警察、近隣住民とのバイクヘルメット指導（大学及び近隣の駅）
- ・警察、近隣住民とのビラ配（バイク・自転車盗難防止）
- ・近隣の女性防犯チーム（社会人）との連携

隊員 32名中→ 追分・葵寮の在籍者・経験者含め
隊長・副隊長（葵寮）をはじめ、15名。

※ 所轄警察署長から「防犯推進委員」の委嘱状交付

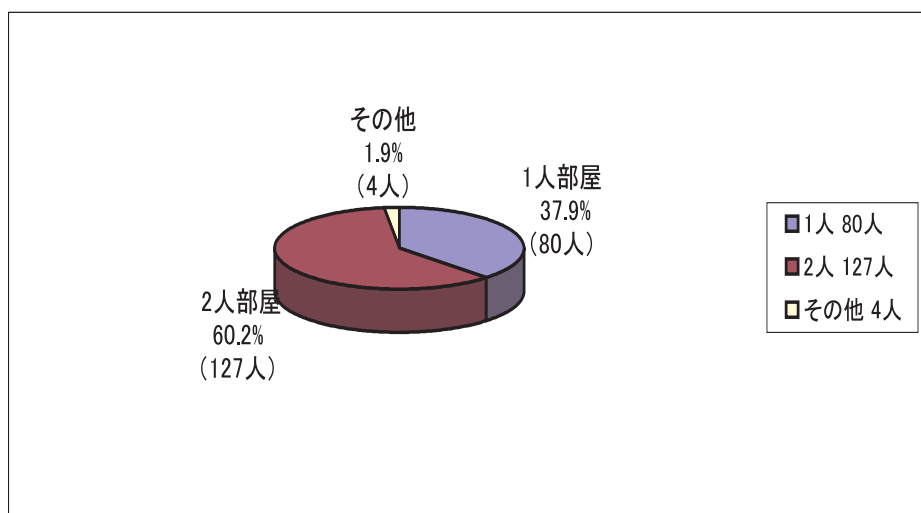
40



寮生活を終えて～アンケート結果から①

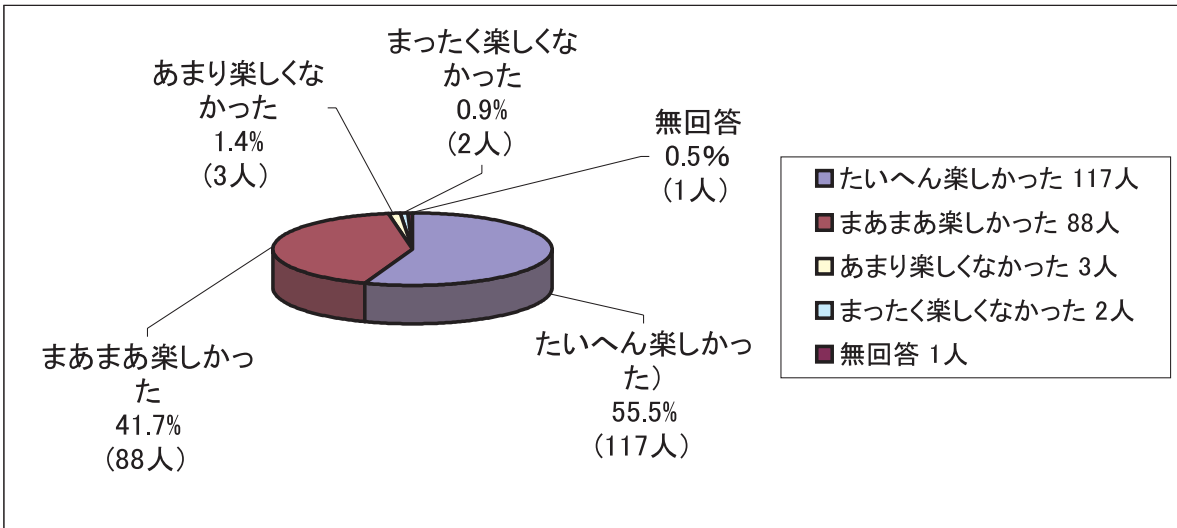
平成23年度 追分寮アンケート（回答212件 回答率99.5%）

1. 追分寮は何人部屋が望ましいと思いますか？ **60.2%が2人部屋を希望**
(前年度67.2%)



寮生活を終えて~アンケート結果から②

2. 追分寮での共同生活はいかがでしたか？ **楽しい・まあまあ楽しい 97.2%**



よかった点

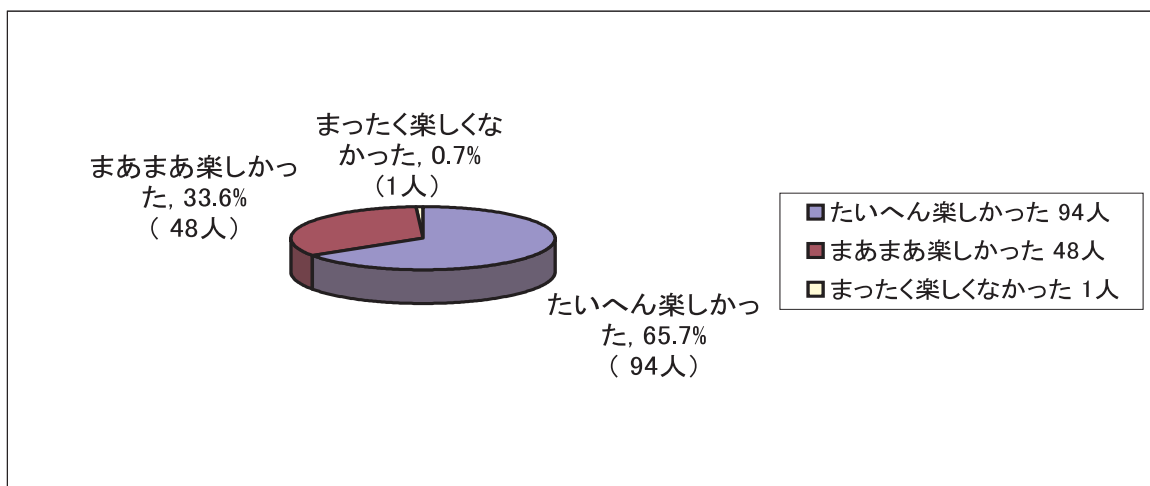
- ・独り暮らしだと絶対に出会っていない仲間たちができたこと。
- ・かけがえのない友人ができた。大学生活の基盤ができた。
- ・自分ひとりでは気づかないことを多く指摘され、直さないといけないことが明確に分かりました。大変勉強になりました。

よくなかった点

- ・各部屋でインターネットが利用できなかったこと。
- ・プライバシーがない。
- ・炊事場がもう少し多ければ日曜も自炊したかった。

寮生活を終えて~アンケート結果から③

3. 葵寮での共同生活はいかがでしたか？ **楽しい・まあまあ楽しい 99.3%**



よかった点

- ・独り暮らしだと絶対に出会っていない仲間たちができたこと。
- ・かけがえのない友人ができた。大学生活の基盤ができた。
- ・自分ひとりでは気づかないことを多く指摘され、直さないといけないことが明確に分かりました。大変勉強になりました。

よくなかった点

- ・各部屋でインターネットが利用できなかったこと。
- ・プライバシーがない。
- ・炊事場がもう少し多ければ日曜も自炊したかった。

寮生活を終えて～アンケート結果から④

退寮に際し、寮生活を振り返って、あなたの感想をお聞かせください。

- ・最初は嫌でしたが、だんだんと楽しくなってきました。貴重な体験ができてよかったです。
- ・かけがえのない友達がたくさんでき、楽しいときもケンカするときもあったけど、寮で大学の1年目を過ごしたことが本当に良かったと思います。
- ・振り返ってみると、本当にあっという間だった。寮生活という体験は、これからの生活の大きな財産になると思う。

45

課題と今後について

- (1) 班長の研修方法について
➡ 班長の成長が、寮を変える
- (2) 入寮選考方法の見直しについて
➡ 意識の高い者をいかに入寮させるか
- (3) 本学の中核的な存在の素地を培う寮となっているか等の検証
➡ ・クラブ、自治会での活躍 ・学業成績
・卒業率 ・就職率 ・卒業生の活躍 など

46